

**2018年5月期 株式会社アイケイ
第2四半期決算(連結)説明会**

2018年1月16日

説明者 代表取締役会長兼CEO 飯田 裕

第一部 2018年5月期 第2四半期実績(連結)

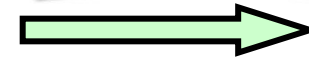
第二部 2018年5月期 通期業績予想と戦略

第三部 参考情報(単体実績)

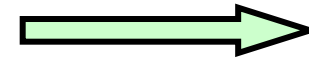
第一部 2018年5月期 第2四半期決算実績(連結)

当社グループの事業系統図

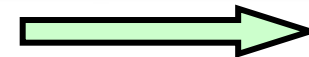
	社名	事業セグメント
アイケイグループ	株式会社アイケイ	メーカーベンダー事業
	株式会社プライムダイレクト (連結子会社)	
	株式会社フードコスメ (連結子会社)	SKINFOOD事業
	アルファコム株式会社 (連結子会社)	ITソリューション事業



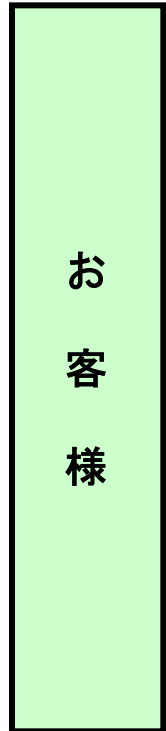
商品・サービスの提供



商品・サービスの提供



商品・サービスの提供



2018年5月期 第2四半期決算の総括(ハイライト情報)

(単位:百万円、%)

	予想	当第2Q 実績	達成 率	前第2Q 実績	前第2 Q比	主な要因
売上高	9,270	9,272	100.0	7,071	131.1	前第2Qと比較して主力のメーカーベンダー事業で2,207百万円の増収、SKINFOOD事業で14百万円の増収となりましたことから、ITソリューション事業での21百万円の減収を補い、全体では2,200百万円増収し9,272百万円の売上となりました。
営業利益	510	518	101.7	211	245.4	売上総利益率は前第2Qより2.4ポイントアップし43.0%になりました。一方、販管費比率は前第2Qと比較して0.2ポイントダウンし37.4%となりましたことから、営業利益は307百万円増の518百万円となりました。
経常利益	520	524	100.9	209	250.5	経常利益も営業利益同様に315百万円増加し、524百万円となりました。
親会社株主に帰属する四半期純利益	370	371	100.5	153	242.9	親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第2Qより218百万円増の371百万円となりました。

(注) 予想数値は2017年12月18日に発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に基づいております。

セグメント別売上高

(単位: 百万円、%)

	当第2Q 売上高	構成比	前第2Q 売上高	前第2Q比	要 因
メーカーベンダー事業	8,705	93.9	6,498	134.0	B to Cルート及び海外ルート(インバウンドを含む)での売上げが大きく寄与したことから、メーカーベンダー事業全体では2,207百万円の増収となりました。
SKINFOOD事業	477	5.2	463	103.1	当第2Q連結会計期間において店舗の増減はありませんが、前第2Qと比較して1店舗増となっていることから、売上は14百万円の増収となりました。
ITソリューション事業	88	0.9	109	80.5	安定した保守売上があるものの、販売強化中のM-Talkの受注遅れから21百万円減収し、88百万円となりました。
合 計	9,272	100.0	7,071	131.1	

セグメント別営業利益

(単位:百万円、%)

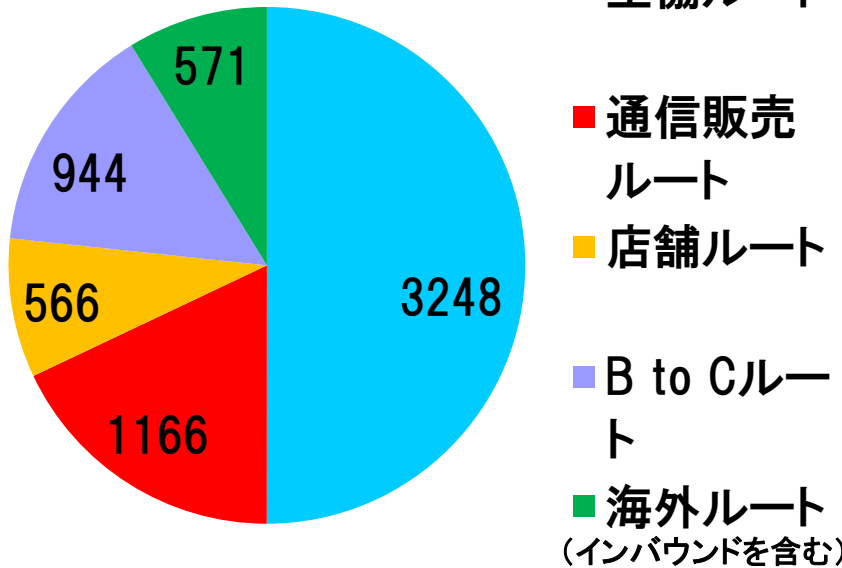
	当第2Q 営業利益	営業利益率	前第2Q 営業利益	前第2Q比
メーカーベンダー事業	404	4.6	162	248.6
SKINFOOD事業	120	25.3	48	247.4
ITソリューション事業	△9	△10.2	△2	—
合計	518	5.6	211	245.4

(注)セグメント利益の調整額2百万円(連結消去に伴う調整額)を含めておりません。

メーカーベンダー事業の販路別売上内訳

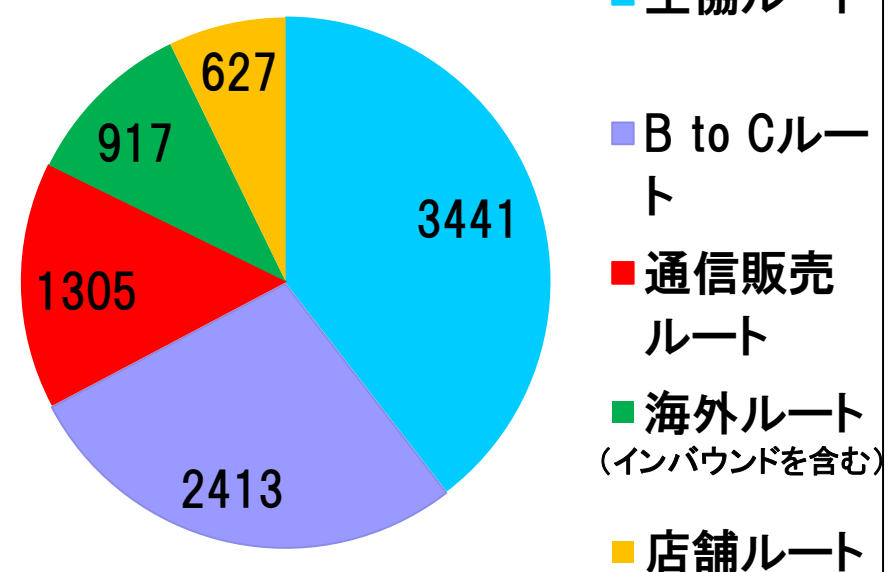
売上高 (前第2Q)

単位:百万円



売上高 (当第2Q)

単位:百万円



主要経営指標

	2017年5月期 第2四半期実績	2018年5月期 第2四半期実績
売上高総利益率(%)	40.6	43.0
営業利益率(%)	3.0	5.6
経常利益率(%)	3.0	5.7
ROA(%)	4.1	8.5
ROE(%)	9.4	16.8

(注)ROAは総資産経常利益率としております。

主要販管費

(単位:百万円、%)

	2017年5月期第2Q実績		2018年5月期第2Q実績	
	金額	売上比	金額	売上比
人件費	659	9.3	741	8.0
広告宣伝費	921	13.0	1,447	15.6
荷造運賃	453	6.4	529	5.7
販管費合計	2,660	37.6	3,466	37.4

広告宣伝費はTVショッピングでの放映枠増に伴い前第2Q実績と比較して実額及び売上比ともに大きく増加しておりますが、販管費全体では売上高の増加により売上比は前第2Q実績と比較して0.2ポイントダウンいたしました。

財政の概要

	2017年5月期 第2Q実績	2018年5月期 第2Q実績
総資産(百万円)	5,166	6,154
純資産(百万円)	1,624	2,216
自己資本比率(%)	31.4	36.0
1株当たり純資産(円)	436.09	594.82
1株当たり四半期純利益(円)	41.10	99.82

(注) 当社は、2017年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。「1株当たり純資産(円)」及び「1株当たり四半期純利益(円)」は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

第二部 2018年5月期 通期業績予想(連結)

業績予想

(単位:百万円)

	2017年5月期 通期(実績)			2018年5月期 通期(予想)		
	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比
売上高	15,273	100.0	109.8	18,860	100.0	123.5
営業利益	557	3.6	271.4	1,000	5.3	179.5
経常利益	554	3.6	304.0	1,010	5.4	182.1
親会社株主に帰属する当期純利益	425	2.8	580.0	690	3.7	162.1
1株当たり配当金	30円			20円		

(注) 当社は、2017年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2018年5月期(予想)の期末配当金については当該株式分割を考慮した金額を記載しております。2017年5月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。従いまして、2018年5月期(予想)の配当金は、実質的には普通株式1株につき10円の増配となります。

セグメント別売上予想

(単位:百万円)

	2017年5月期 実績	2018年5月期 (予想)
メーカーベンダー事業	14,053	17,620
SKINFOOD事業	993	1,020
ITソリューション事業	227	220
合 計	15,273	18,860

セグメント別営業利益予想

(単位:百万円)

	2017年5月期 実績	2018年5月期 (予想)
メーカーベンダー事業	394	769
SKINFOOD事業	152	236
ITソリューション事業	4	△9
合 計	557	1,000

(注)合計には連結消去に伴う調整額が含まれております。

メーカーベンダー事業の下期戦略

重点戦略

- 1.事業業態を「マーケティングメーカー」と位置付け、「美しく生きる・健康に生きる・楽しく生きる」をキーワードに自社開発商品の強化を行う。
- 2.「LB、海外、B to C」を成長エンジンと位置付け、重点的に強化する

◆ LB

- ・パッケージ等のデザイン刷新による新規顧客の獲得
- ・SNSを利用したプロモーションの強化
- ・国内導入店舗数2,000店舗へ(12月末で1,480店舗へ導入済)

◆ 海外戦略

- ・海外子会社及び孫会社によるLBの新規販路の拡大
- ・LBの「FRANK-IN」、越境ECサイトでの販売強化
- ・海外SNS情報の更新頻度UPによる認知度の向上

◆ B to C

- ・生協・カタログ通販を基盤に、自社ECサイトの構築
- ・時代のニーズに合わせた販売の強化

SKINFOOD事業の下期戦略

1. 既存店の収益力アップに注力（反復来店促進）
 - ・友人紹介カード、サンプル引換券の発行
 - ・店舗におけるハウスカード獲得(全店TOP10入りを目指す)

2. 記憶に残る店づくり
 - ・接客時に必ず名前を名乗る(双方向でのありがとう)の強化
⇒隔月のミステリーショッパーで定期チェック
 - ・SKINFOOD人気商品総選挙の実施
 - ・LINE会員の獲得に合わせてTwitterフォロワーの獲得

3. 販路の拡大
 - ・EC系の販路拡大
 - ・ギフト系カタログへの販路拡大

ITソリューション事業の下期戦略

1. 営業面

- ◆ チャットシステム「M-talk」
 - ・他社製品との連携を進め、製品付加価値を高める
- ◆ 「LINE Works」(ビジネス版LINE)の販売強化
 - ・効率的拡販と運用体制の確立をめざし社内連携の強化
- ◆ 「Voistore(通話録音システム)」の販売強化
 - ・新バージョンの「Voistore TOV」を拡販開始

2. 管理面

- ◆ 組織のフラット体制による責任と権限の明確化
 - ・No.2及びNo.3の育成

第三部 参考情報(個別実績)

損益計算書(個別)

(単位:百万円、%)

	2017年5月期第2Q 実績			2018年5月期第2Q 実績		
	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比
売上高	6,121	100.0	108.7	7,331	100.0	119.8
売上総利益	2,180	35.6	110.4	2,519	34.4	115.5
販売費及び 一般管理費	2,048	33.4	108.7	2,361	32.2	115.3
営業利益	132	2.2	147.7	157	2.2	119.3
経常利益	189	3.1	367.0	267	3.7	141.1
四半期純利益	142	2.3	1,555.3	206	2.8	145.5

ルート別売上高(個別)

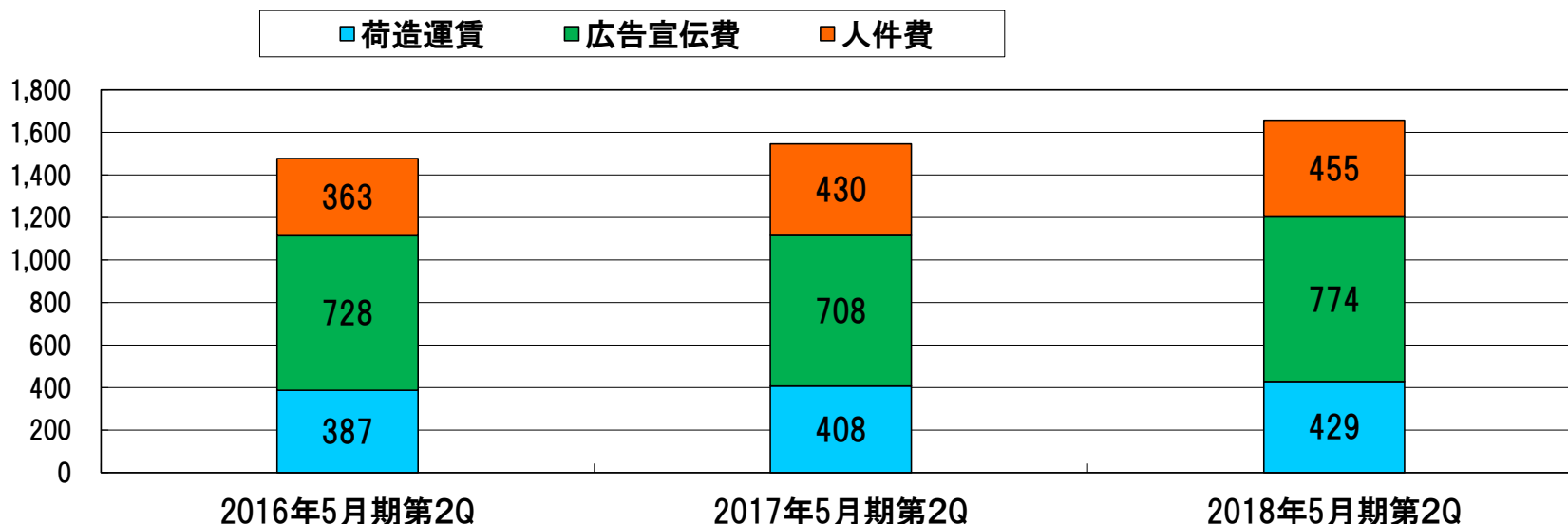
(単位:百万円、%)

		2017年5月期第2Q 実績			2018年5月期第2Q 実績		
		金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比
生協 ルート	雑貨類	2,075	33.9	104.7	2,238	30.5	107.8
	食品類	1,172	19.2	90.8	1,203	16.4	102.6
	小計	3,248	53.1	99.2	3,441	46.9	105.9
通販 ルート	雑貨類	784	12.8	97.5	890	12.1	113.5
	食品類	382	6.2	89.8	414	5.7	108.5
	小計	1,166	19.1	94.9	1,305	17.8	111.9
店舗ルート		566	9.3	88.7	627	8.6	110.8
B to C(ダイレクト通販)		568	9.3	187.3	1,039	14.2	182.7
海外(インバウンドを含む)		571	9.3	306.7	917	12.5	160.6
合計		6,121	100.0	108.7	7,331	100.0	119.8

主要販管費(個別)

(単位:百万円、%)

	2016年5月期第2Q			2017年5月期第2Q			2018年5月期第2Q		
	金額	前年比	売上比	金額	前年比	売上比	金額	前年比	売上比
人件費	363	102.0	6.5	430	118.4	7.0	455	105.8	6.2
広告宣伝費	728	111.2	12.9	708	97.2	11.6	774	109.3	10.6
荷造運賃	387	103.9	6.9	408	105.4	6.7	429	105.1	5.9



1. 本資料および本説明会に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
2. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社により何らかの行動を勧誘するものではありません。

お問い合わせ先

株式会社アイケイ 管理チーム 江口

〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目26番8号

TEL : 052-856-3101 FAX : 052-856-3120

URL : <http://www.ai-kei.co.jp>